

天保十三年宣八月十二日備
蕉翁百五十遠思墓前

追福俳諧之連歌

昔々竹古樂系

松園

わねねのれ

井多ねく

はしふのね 春調

六人捨、かたに

湖、ぬのさ、 渥山

うらねはるん

後々のれじ 如毛

まね、月、し

かの、ま、つ、琴臺

一、ま、る、ね

ち、ま、る、ね 猪吹

石 蠅

松花

菊

遊

玉扇

梅鳥

江

船

起龍

海

市

花

鳥

江

船

起龍

海

市

花

鳥

江

船

起龍

海

市

8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9

明法
如水

如れ
如水

門の
梅史

駢
鳳南

今
紅英

物
倉芥

明
浦春

吾
調

旅
山

今
不

今
毛

今
臺

今
吹

今
月

今
月

今
月

今
月

今
月

今
月

今
月

今
月

今
月

今
月

今
月

今
月

今
月

五

梅價

心

心

心

心

心

心

心

心

心

心

心

心

心

心

心



天保十三年寅八月十二日備
蕉翁百五十遠忌墓前

追福俳諧之連歌

松園

昔も今も 古も今も

わが心も 今も昔も

舟も水も 今も昔も

春の夜も 今も昔も

六人揃も 今も昔も

湖の心も 今も昔も

うららかな 今も昔も

鏡の心も 今も昔も

赤も白も 今も昔も

ゆめの心も 今も昔も

一も二も 今も昔も

ちもなも 今も昔も

猪吹



おしほしりら

所実く雲志めり 斜月

河瀬のほけれ

さいしほく 如玉

りほく 玉

かりら 玉英

着る身は 玉

ゆふの音 起龍

涼風 玉

まはる 市雲

まはる 錦江

市河のほけれ

うねる 梅鳥

しほく 玉扇

鞠めつ 玉扇

花 玉

おん 花遊

花の 玉

うねる 菊露

卯 玉 松花

うねる 玉 松花

うねる 玉 蝸石

筒經と手と久

入れはまじりて花

と利小くやく

流れお玉水

龍と七意用り

う紀船おと龍

お水と海とわ

首と足股金嘴

花とさしと心

とくさるお梅價

人の候と

とまきと石